

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 金沢文化服装学院
設置者名	学校法人 金沢文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	アパレル造形デザイン科	夜・通信	3,420 時間	240 時間	
	ファッションビジネス科	夜・通信	2,280 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kanabun.ac.jp/index.html ホームページに掲載予定

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 金沢文化服装学院
設置者名	学校法人 金沢文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kanabun.ac.jp/index.html ホームページに掲載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	小川商事株式会社 取締役社長	令和5年4月 ～令和9年3 月	学校法人の運営に多 様な意見を取り入 れ、経営機能の強化 を図る
非常勤	株式会社クマモトニット 代表取締役	令和5年4月 ～令和9年3 月	〃
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 金沢文化服装学院
設置者名	学校法人 金沢文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>全科目のシラバスを整備している。</p> <p>シラバスの作成にあたり、全科目の記載項目を統一し、各授業回の内容・学習課題を具体的に記載することとした。</p> <p>また、成績評価の方法や基準について、原則、授業出席状況/授業態度/提出物(作品・レポート・テスト等)により評価・点数化し、A・B・C・D・Eの5段階で評定することを基準に、各教科の特徴により授業内容に合わせて判断をする。Eは不認定となる。</p> <p>最終到達目標については、その授業を通して具体的に、どの様な知識・技術を習得することを目標とするか、或いは、どの様な力を養うか、どの様なものを制作することができるようにするか、等を具体的に記載する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.kanabun.ac.jp/index.html ホームページに掲載予定
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価の方法や基準について、原則、授業出席状況 20%/授業態度 20%/提出物 60%(作品・レポート・テスト等)により評価・点数化し、A(100～85)・B(84～70)・C(69～60)・D(59～50)・E(49 以下)の 5 段階で評定することを基準に、各教科の特徴により授業内容に合わせて判断をする。</p> <p>通年授業の場合は、前期・後期それぞれの評価をもとに学年末に総合評価をする。E は不認定となる。</p>	
3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>成績評価においては GPA を設定し取り入れている。</p> <p>数値の算出は以下の通り、</p> <p>成績評価の A を 4、B=3、C=2、D=1、E=0 として設定。</p> <p>計算方法：(A の単位数×4) + (B の単位数×3) + (C の単位数×2) + (D の単位数×1) ÷ 合計の単位数</p> <p>成績評価の基準は以下の通り</p> <p>A (100～85 点)</p> <p>B (84～70 点)</p> <p>C (69～60 点)</p> <p>D (59～50 点)</p> <p>E (49 点以下)</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.kanabun.ac.jp/index.html ホームページに掲載
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

その学生が、各学科で定められた授業単位を全て修得し、且つ、学院長と教職員で構成される卒業認定会議で審議し、学院長が認定することにより卒業が認定される。授業単位の修得においては本校規定により定められた成績評価(授業出席状況/授業態度/筆記試験/実技試験/成果物等)に基き可否を判断する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.kanabun.ac.jp/index.html> ホームページに
掲載

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 金沢文化服装学院
設置者名	学校法人 金沢文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kanabun.ac.jp/index.html ホームページにて公表を予定している
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	アパレル造形デザイン科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,420時間	608時間	1,212時間	456時間	1,064時間	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		50人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教育理念や育成人材像、普段の当該業界に属する企業経営者や採用担当者、従業員の方々からの意見を踏まえ、前年度の内容も参考にしながら、アパレル商品の縫製や手芸の技術的授業を当該年度における核の授業と設定し、それを基に全体のカリキュラムを構成する。その他、様式第2号の3-1を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3-2を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3-4を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常授業に加え、業界について幅広く学ぶため、或いは更なる知識・技術の向上を図るための特別講義を実施 ・業界企業の経営者や採用担当者、従業員等による「学内企業説明会」の実施 ・個別対応によるきめ細かな就職支援の実施 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (%)	14人 (100%)	0人 (%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>主な就職先は県内外のアパレルメーカーで、 企画デザイン・パタンナー・総合職・生産管理・縫製 等で就職</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>ビジネスマナー講習、面接練習、文章作成指導、学内企業説明会の開催 等</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>パターンメイキング技術検定、ファッション販売能力検定、色彩検定</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	3人	5.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済上の理由、健康上の理由、進路変更 等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>クラス担任による個別面談の実施や、必要に応じて学院長との面談（本人及び保護者）、保護者との連携 等（中退防止・中退者支援のための取組）</p>		

服飾・家政		服飾専門課程	ファッションビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 280 時間	1,292 時間	342 時間	266 時間		380 時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		32人	0人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教育理念や育成人材像、普段の当該業界に属する企業経営者や採用担当者、従業員の方々からの意見を踏まえ、前年度の内容も参考にしながら、ショップ出店計画立案や接客技術の向を目指した授業を当該年度における核の授業と設定し、それを基に全体のカリキュラムを構成する。その他、様式第2号の3-1を参照。
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3-2を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3-4を参照
学修支援等
（概要） ・通常授業に加え、業界について幅広く学ぶため、或いは更なる知識・技術の向上を図るための特別講義を実施 ・業界企業の経営者や採用担当者、従業員等による「学内企業説明会」の実施 ・個別対応によるきめ細かな就職支援の実施 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 主な就職先は県内外のアパレルメーカーで、 総合職・企画職・ファッションアドバイザー 等で就職 希望者就職率は100%となる			
（就職指導内容） ビジネスマナー講習、面接練習、文章作成指導、学内企業説明会の開催 等			

(主な学修成果(資格・検定等)) ファッション販売能力検定、販売士検定、色彩検定、スタイリングマップ検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	2人	5.9%
(中途退学の主な理由) 経済上の理由、健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による個別面談の実施や、必要に応じて学院長との面談(本人及び保護者)、保護者との連携等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
アパレル 造形デザ イン科	200,000 円	600,000 円	520,000 円	
ファッシ ョンビジ ネス科	200,000 円	600,000 円	520,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kanabun.ac.jp/index.html ホームページに掲載予定		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
評価項目を①教育理念・目的・人材育成等、②学校運営、③教育活動、④学修成果、⑤学生支援、⑥教育環境、⑦生徒の受け入れ募集、⑧財務、⑨法令等の遵守の9項目とし、内部で評価した内容を下記委員で構成された学校関係者評価委員会が客観的な評価・検証を行い、今後の学校運営・教育課程編成等に対する意見・助言を行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
セレクトショップ 経営	2023. 4. 1～2025. 3. 31	生徒・卒業生
セレクトショップ バイヤー	2023. 4. 1～2025. 3. 31	関係業界
フリーランス パタンナー	2023. 4. 1～2025. 3. 31	関係業界
デザイン会社 代表	2023. 4. 1～2025. 3. 31	関係業界
石川県内の専門学校 理事長	2023. 4. 1～2025. 3. 31	関係団体
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kanabun.ac.jp/index.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.kanabun.ac.jp/index.html>